

『小宇宙』

微視的世界についての考察

ゾウリムシは、無限の空間を巡回しつづけ
アメーバーは、ダイヤモンド形の微生物を呑み込む
ヒドラスは、液体の中で舞う

繊毛虫は、熱狂した精子のように鞭を打つ
そして、藻類は太陽のエネルギーを吸い上げる

それはサイエンスフィクションものですか？
それとも遙かかなたの惑星の物語ですか？

いいえ、それは身近に存在する奇跡です
一滴の水の中に、あるいは血の塊の中に
目に見えない生き物が
誕生し、繁栄し、そして消えてゆく

玲亜： 私たちは魔法の世界に住んでいます。

ティン： ええ、私たちは魔法の美しさのほんの一部しか理解していない。

悟： むしろ恐ろしさも一部しか分からないでしょう。人の存在が、常にうたかたのよう
に消えていくように。

ミン： 私たち人間が考えることは、宇宙の時空の中で見れば、ほんのささいなことばかりです。

- T Newfields (和訳: 吉田 典子)

開始：1999 年 桃園市 ・ 完成：2017 年 横浜市

